

リーディングDXスクール事業【実践事例】

長崎市立西泊中学校

【取組内容】「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実

各教科の公開授業 各教科部会で個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を図る授業を構想し、公開授業を行った。

理 科 (3 年生)

単元名

運動とエネルギー

評価基準

力の分解の作図ができる

ICTの活用

導入：レディネス把握
(AIドリル)展開：作図の動画を配信
個別に確認しながら作
図を行わせる。終末：理解度把握と個に応
じた課題の提供
(AIドリル)

英 語 (3 年生)

単元名

Be Prepared and Work
Together Read and Think①

評価基準

自分が表したい内容を英文に
することができる

ICTの活用

導入：レディネス把握
(Googleフォーム)展開：作成した英文の共有
(Googleクラスルーム)終末：理解度把握と個に応
じた課題の提供 (AIドリル)

社 会 (3 年生)

単元名

現代の民主政治

評価基準

投票率を上げる方法を考える
ことができる

ICTの活用

展開：考えたアイデアの共有
(Googleクラスルーム
・Googleスライド)終末：模擬投票を行い、結果
をフィードバックする
(Googleフォーム)

授業の様子

授業の様子

授業の様子

リーディングDXスクール事業【実践事例】

長崎市立西泊中学校

【取組内容】 情報活用能力の育成

基本的な操作の習得

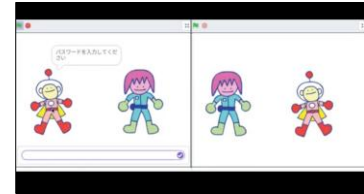
- 金曜日の朝学習の時間（8:15～8:25）にAIドリルやタイピングを実施
 - ※ 朝学習の時間 月・木→朝読書 火→AIドリル 金→タイピング（隔週で心の時間）
- タイピングテストの実施・スプレッドシートの基本操作（技術・家庭科）

無料タイピング練習サイトでタイピングテストを実施。校内ランキングが表示されるので、競いながらタイピングスキルが向上した。

また、スプレッドシートによる表やグラフ作成、基本的な関数の利用については小学校で習得ができていないため、中学校において学習した。

プログラミング的思考

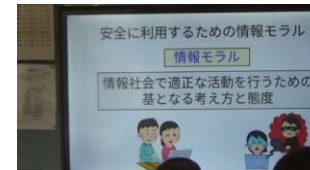
- プログラミングカリキュラム（技術・家庭科）
- 1年生：変数を利用した基礎的なプログラミング（落とし物キャッチゲームの作成）
 - 2年生：ネットワークを利用した双方向性のあるプログラミング（チャットプログラム作成）
 - 3年生：計測・制御のプログラミング（信号機や生活を改善する自動装置モデルの作成）



情報モラル・情報セキュリティ

技術・家庭科、道徳、学活において次の内容を学習

- 情報の信ぴょう性（フィッシング詐欺、チェーンメール等）
- 情報発信の注意点（個人情報、誹謗中傷、悪ふざけ、デジタルタトゥー、リベンジポルノ等）
- 情報サービス利用上の注意点（ID・パスワード、不正アクセス禁止法、違法アップロード等）
- 著作権（複製、引用、公衆送信等）



リーディングDXスクール事業【実践事例】

長崎市立西泊中学校

【取組内容】 クロームブックの持ち帰りによる家庭学習の充実

クロームブックの利用の仕方（ルール）の指導

校内での利用

- 授業中：担当の先生の指示のもと使用する。
- 休み時間：昼休み・放課後は先生の許可を得て使用する。

家庭への持ち帰り

- 平日：充電が切れそうなとき、クロームブックを使った課題が出たとき、クロームブックを使って学習を行いたいときに自主的に持ち帰る。
- 毎週末：祝日や長期休業前：必ず持ち帰りフル充電して休み明けに持ってくる。
- 土日祝日：長期休業中にはAIドリルを1日1時間以上実施する。

日常的な持ち帰りによる家庭学習の充実

各教科

- 効果的な家庭学習の仕方について生徒へ指導を行う。
（勉強の仕方がわからず、ただページをうめるだけで、頭にはいっていないのに満足している生徒がいる。→効果的な家庭学習の仕方について教科担任が生徒へ指導する。）
- AIドリルやクラスルームで課題を配付したり、ICTで予習した上で新しい内容を教えるなど、家庭学習と授業の連携を図る。
- AIドリルの解答を自主学習ノートに記載し、提出させることで、書く活動や図形問題の理解などを強化する。（デジタルとアナログのベストミックス、書く活動の充実。）

学活

短学活や学活等で、各生徒に家庭学習の目標を立てさせるなど、主体的な取り組みになるように働きかけを行う。